

## 〔国際会議開催〕

申請者	株式会社国際電気通信基礎技術研究所 (ATR) 脳情報通信総合研究所 所長 川人 光男	2175005
国際会議名称	Real-time Functional Imaging and Neurofeedback Conference (rtFIN2017)	
開催期間	2017 年 11 月 29 日～12 月 1 日	
開催場所	奈良春日野国際フォーラム (奈良市春日野町)	
申請者の役割	大会長	

## 概要：

同会議は、第 1 回が 2012 年にチューリッヒで開催され、リアルタイム fMRI のコミュニティ形成に貢献し、多くの論文を輩出した。第 2 回は 2015 年にフロリダにて開催され、その対象を EEG, fNIRS, MEG に広げ、さらにリアルタイムイメージングとニューロフィードバックの可能性を掘り下げること成功した。今回、第 3 回目は、先端的ニューロフィードバックに焦点をあて、臨床応用を視野に、様々な議論の場を提供することで、ニューロフィードバックの標準化から国際的な研究協力体制の確立を目的として開催した。

オープニングアドレスとして、川人大会長 (ATR) より本会議の歴史、プログラム概要、開催目的、協賛企業の紹介、最後にビッグデータ駆動ニューロフィードバックの最新成果について報告がなされた。その後 3 日間に渡り、ニューロフィードバックの臨床応用、民生応用に向けた具体的な課題、BMI, BCI などの最新研究について、6 件のキーノート講演、5 件のスペシャルセッション、4 件のワークショップ、12 件の口頭発表、141 件のポスターセッション、8 社の企業展示が展開された。

会期中、初日の 11/29 日の夜は発表者、参加者、展示者など全員を招待としたバンケットを開催、専門、業種等を越えたフラットな交流の場を設けた。

また、本研究・技術分野の裾野拡大を視野に 24 名のポスドク、大学院生にトラベルアワードを提供した。

当日は、新聞社が 3 社来場し、記事化に向けて現在も取材を受けている。偶然興味を示された奈良県知事、またイスラエルの投資家一行が来場するなど、一般からの強い関心を実感した。

終了後に共同研究の話が議論されており、今後の連携の推移を見守りたい。